

令和4年度【学生】特別臨時中央審査会〈5月〉 実施要項

1. 主催 公益財団法人全日本弓道連盟
 2. 主管 東京都弓道連盟
 3. 期日 ・開会式・矢渡・特別演武は行わない。

・ビデオ審査の要領（撮影方法・提出方法等）については別紙を参照のこと。

期 日	種 別	会 場 名 (所在地)	締切日 (厳守)
令和4年5月21日(土) ※ビデオ審査	初段	各大学活動道場	令和4年4月21日(木) ※動画締切5月21日(土)
	弐段		
令和4年5月22日(日)	参段	全弓連中央道場	令和4年4月21日(木)
	四段		
	五段		

鳥取県弓道連盟申込書提出締切 4月11日(月) 事務局必着
※参加料は県弓連指定口座に振込のこと

4. 受審資格 地連に所属している大学生会員（短期大学・大学院生含） ※高等専門学校・専修学校除く

種別	受審資格
弐段	令和3年12月21日までの初段合格者
参段	令和3年12月22日までの弐段合格者
四段	令和3年12月22日までの参段合格者
五段	令和3年12月22日までの四段合格者

5. 会場・住所

会 場 名	住 所
全弓連中央道場	東京都渋谷区代々木神園町1-1 TEL:03-5302-5865

6. レポート課題

- ・ 学科試験に代わり課題のレポート提出とする(コロナ感染防止対策として)
- ・ レポートは自筆でA4版(全弓連ホームページに用紙様式あり)1枚にまとめ、審査申込書とともに提出のこと。
- ・ レポートには必ず課題を記入し、回答すること。
- ・ レポートの受審番号・採点欄は空欄のままとして提出のこと。

種 別	レポ ー ト 課 題
初段	1. 「射法八節」を順に列挙し、「引分け」を説明しなさい。
	2. 弓道を始めた動機(きっかけ)について述べなさい。
弐段	1. (立射での)「矢番え動作」について説明しなさい。
	2. あなたが審査を受ける目的について述べなさい。
参段	1. 「射法・射技の基本」を列挙し、「呼吸(息合い)」について説明しなさい。
	2. 「審査を受ける心構え」について述べなさい。
四段	1. 「五重十文字」について説明しなさい。
	2. 「基本体の必要性」について述べなさい。
五段	1. 「残心(残身)は射の総決算である」とはどのようなことか説明しなさい。
	2. 「射は立禅」という言葉を日常生活とどのように関連付けていますか。

7. その他

- ① 新型コロナウイルス感染防止については、各自充分に配慮の上受審のこと。
- ② 本連盟ホームページに掲載の「審査規程」・「令和4年度中央審査会受審にあたって」及び、各地連に通知済み「中央審査会の開催に関するガイドライン」を理解して受審すること。
- ③ 上記の主な内容を下記する。
 - ・第一控・行射時以外はマスク着用は必須。
 - ・受付可能時間には制限があるので注意。指定時間以前の入館(入場)はできない。
 - ・入館時に受付で「検温」を行う。平熱を超える発熱(おおむね37度5分以上)ならびに体調不良者は入館及び受審できない。
 - ・近郊の受審者は、自宅で着替えを済ませることが望ましい。(更衣室の三密回避のため)
- ④ 五段受審者は、和服を着用し、本座で肌脱ぎ・襷掛けを行うこと。
- ⑤ 申込書の学年は、令和4年4月1日以降のものを記入し、大学院生の場合は学年の前に「院」と記載すること。
- ⑥ 立射で受審する際は、申込書右下の受審者連絡欄に立射で受審したい旨を朱書きし、地連会長の承認を得るとともに、当日受付でその旨を申告すること。

以上